

2 中学部

(1) 教育目標

健康で明るく、心豊かな生活ができるように、生徒一人一人の個性や可能性を伸ばし、自立と社会参加に向けて、学ぶ喜びと充実感をもって生きることを目指す。

○健康で明るい生徒

心身の健康や体力の増進を図り、喜びとうるおいのある生活を営む態度を養う。

○自分と仲間を大切にする生徒

互いに個性を尊重し合い、信頼と共感をもって協力して取り組む態度を養う。

○自ら学びに向かう生徒

将来の自立と社会参加に必要な知識・技能を身に付けようとする態度を養う。

(2) 方針

ア 生徒一人一人を尊重し、教職員間の共通理解に基づいた学習指導、生徒指導に努める。

イ 将来の自立と社会参加を目指して、キャリア教育の視点に基づいた個別の指導計画を作成し、指導内容・方法の改善・充実に努める。

ウ 生徒一人一人の実態に応じた学習集団の編成や環境の整備に努める。

エ ICTを効果的に活用し、一人一人に応じた学習活動、内容の充実に努める。

オ 基本的な生活習慣の定着を図るために、基礎的・基本的な内容を重視するとともに、生徒の知識・技能、思考力・判断力・表現力等に応じた指導の工夫と改善に努める。

カ 体力の維持増進に努めるとともに、健康・安全に生活しようとする態度を育てる。

キ 保護者と共通理解を図り、相互の信頼関係に立った教育活動を推進する。

ク 地域資源(人材、環境等)を活用した学習をととして、地域との関わりを深め、社会生活に必要な力の育成に努める。

ケ 本人や保護者の願いを的確に把握するとともに、生徒一人一人の実態や適正に応じた進路指導の充実に努める。

コ 「個別の教育支援計画」に基づいて、地域や保護者、関係機関との連携を深める。

(3) 今年度の重点目標

『すてきな中学生』 ～子どもからおとなへ～

ア 一人一人に身に付けたい力と各教科等との関連付けを明確にした個別の指導計画の作成・評価に努める。

イ 一人一人の課題に沿った学習内容及び指導の充実に努める。

ウ 学年間の連携を図り、系統性のある指導に努める。(カリキュラム表の活用)

(4) 教育課程

ア 編成の方針

(ア) 学校教育目標、学部教育目標を踏まえ学級目標を設定する。また、生徒一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた個別の指導計画を作成し、効果的な指導を行う。

(イ) 生徒一人一人の課題に応じて支援内容や方法を工夫し、指導の充実に努める。

(ウ) 各教科等を合わせた指導では、各教科等の目標や内容との関連性に配慮し指導計画等を作成する。

(エ) 総合的な学習の時間を設け、合わせた指導、及び各教科等の指導と相互に関連付けた指導を行う。

(オ) 特別の教科道徳については、自立と社会参加に向けて身近な人と仲良くし、決まりを守るなど自ら判断や行動ができるように、発達段階に応じ全教育活動をととして意図的、計画的に継続した指導を行う。

(カ) 指導の記録をとり、教育評価及び教育課程改善のための資料とする。

イ 教育課程の編成

(ア) 各教科等を合わせた指導

○日常生活の指導

・日常生活が充実し、高まるように、日常生活や社会生活において必要で基本的な内容を身に付ける。

○生活単元学習

- ・生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、必要な知識や技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度を身に付ける。

○作業学習

- ・作業活動をとおして、働く意欲と自信を高めるとともに、社会生活に必要な知識技能を身に付ける。

(イ) 各教科等の指導

○教科別の指導

a 国語

- ・日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力、活用する力を養う。

b 社会

- ・地理的環境、社会の仕組み、歴史や文化等について具体的な活動や体験をとおして理解する力を養う。

c 数学

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、生活や学習に活用しようとする力を養う。

d 理科

- ・自然を愛する心情を養うとともに、自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、日常生活や社会生活に生かそうとする力を養う。

e 音楽

- ・音楽的な見方・考え方を働かせて、表現したり聴いたりするなど、様々な音楽に親しんでいく態度を養う。

f 美術

- ・造形的な視点について理解し、表し方を工夫する技能を身に付けるとともに、造形や作品などを鑑賞し自分の見方や感じ方を深め豊かな情操を養う。

g 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。

h 職業・家庭科

- ・将来の家庭生活や職業生活に関する基礎的な知識や技能を身に付け、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

○特別活動

- ・学校行事、学級活動、係活動等の集団活動をとおして、心身の調和的発達を図るとともに、一人一人の個性を伸ばし、相互に理解し合い、協力してより良い生活を築こうとする態度を育てる。

○自立活動

- ・自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加するための基盤となる「生きる力」を培う。
- ・主体的に取り組む活動の中で、一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導の充実を図る。

○特別の教科道徳

- ・互いの個性を尊重し、信頼と共感をもって協力する力を育む。

(ウ) 総合的な学習の時間

- ・生徒の様々な事物への興味や関心を引き出す学習を組織し、見る、気付く、考える、調べる、行動するという力を育てる。

(5) 年間行事等計画

実施期日	行 事
4月19日(金)	新入生を迎える会
7月11日(木)～7月12日(金)	宿泊研修(2年)
9月11日(水)～9月13日(金)	見学旅行(3年)
3月10日(月)	卒業生を送る会